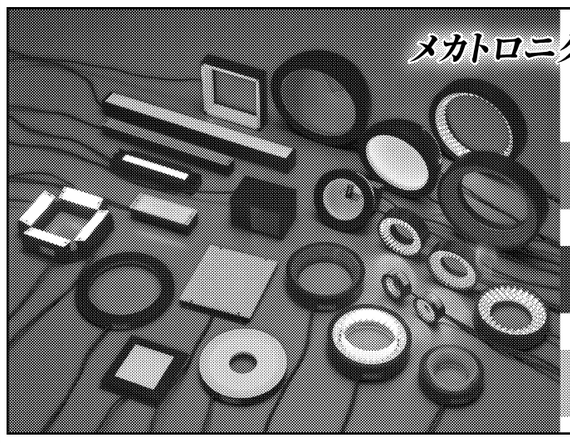


メカトロニクスの可能性を追求し、社会に貢献します。
Challenge & HighQuality

LED 照明機器グループ
FA 機器グループ
ヘルスケアグループ

KKIMAC イマック
株式会社 イマック
〒524-0215
滋賀県守山市幸津川町1551番地
TEL 077-585-6767(代)
FAX 077-585-6790(代)
HP http://www.kkimac.jp

水道管路の耐震化に最適なＰＥ挿し口付フレキシブル継手
ＥＦ接合でポリエチレン管と一体化できます。

ＰＥ挿し口付ダクタイル鋳鉄製ボール形自在継手　ＰＥＢ
PEベンダー PATP
■呼び径７５～１５０mm

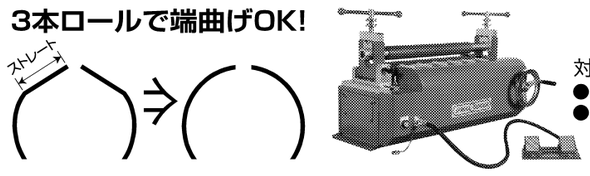
ダクタイル鋳鉄製ボール形可撓伸縮管ＰＥ挿し口付ＮＦＢ
フレキベンダー PAT.
■呼び径７５～１５０mm

地震や地盤沈下対策に

株式会社 水研
本社 /〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇 206-7　TEL(0748)53-8083
支店 / 東京・名古屋・大阪・広島・福岡　営業所 / 札幌・仙台
■URL http://www.suiken.jp　■E-mail otoiawase@suiken.jp

ROLL BENDER
ロールベンダーは住谷製作所の登録商標です。
頼りになるロール加工の凄いヤツ!

3本ロールで端曲げOK!

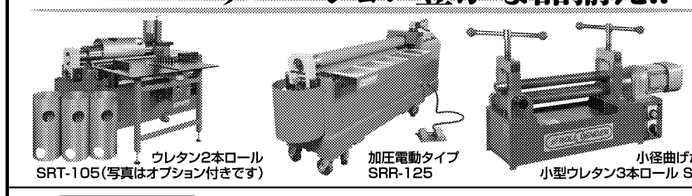


対応機種
●SR-Ⅱシリーズ
●SRR-Ⅱシリーズ

多品種・少量対応機から
全自動量産機まで幅広く対応!!

ロールベンダー発売20周年記念!!
即決割引&運賃無料キャンペーン
※詳細については、ホームページをご覧下さい。

バリエーション豊かな品揃え!!



ウレタン2本ロール
SRT-105(写真はオプション付きです)
加圧電動タイプ
SRR-125
小径曲げができる
小型ウレタン3本ロール SRM-33

ご存知ですか?
お得な購入方法をご紹介いたします。

★BeeLINE での購入の場合
最大20%OFF にてご提供できる機種も!
★メーカー認定中古機
Used Machine にて掘出し物を発見!
★リースによるご購入…
例えば、 SR-55Eを6年リースした場合…月々約¥13,000
SRY-105を6年リースした場合…月々約¥19,000
SR-125Ⅱを6年リースした場合…月々約¥33,000
(税別/72回払い)
※本金額は概算であり、リース会社により異なります。

まるめることに
まっすぐな会社
株式会社 住谷製作所
〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柑子2002番地34 ☎0748(86)1666 FAX 0748(86)1661
URL http://www.sumitani.co.jp

ROLL BENDER
RB事業部
● 金属板金用ウレタンロールベンダー
ロールベンダーPAT、 製造販売
●ウレタン2本ロール　●ウレタン3本ロール
●その他ロール専用機設計製作

おかげさまで、80年。　SHIGA BANK

「しがぎん」
カーボンニュートラルローン 未来よし

滋賀銀行は環境保全に役立つ取り組みに限定して適用する金利プランに加え、「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」「エコ・クリーン資金」「エコ&耐震住宅ローン」「セレクトリフォームローン(エコ&耐震)」のご利用を通じて削減された温室効果ガス(CO_2)の排出量を、当行が独自に定めた基準で金額換算し、財団法人滋賀県水産振興協会が行う「ニゴロブナ」と「ワタカ」の放流事業の一部に資金を拠出。「ふなずし」といった湖国の食文化(スローフード)の保全に貢献します。

未来の地球のために、今できること。
これまでも、これからも。80th

滋賀の引力 K³(観光・企業・環境)パワー

滋賀は人や企業を引きつける。2010年の工業統計調査によると、滋賀県の工業は事業所数(4人以上)2873事業所、従業者数14万8772人、製造品出荷額6兆5741億円。1955年から10年までの伸びを見ると、事業所数で2・1倍、従業者数で3・1倍、製造品出荷額で126倍で、全国のそれぞれの伸びの1・3倍、1・5倍、44倍を大きく上回っている。交通の要衝、豊富な観光資源、環境関連など企業の集積、数々の充実した誘致・振興政策、「住み心地日本一」の実現を目標にした滋賀県の基本構想など数々の引力が存在する。観光や環境関連産業の取り組み、また成長を支援する活動など、その一端をのぞいてみよう。

□■□

人もっと呼び込む
多彩な観光資源生かし策
滋賀県

滋賀県は琵琶湖をはじめとする豊かな自然、社寺仏閣や歴史資源、文化・芸術、食、伝統産業など数多くの観光資源に恵まれ、広く人を呼び込む「滋賀の引力」となっている。

2009年に策定された13年度までの5年間の観光指針「新・滋賀県観光振興指針 近江の誇りづくり観光ビジョン」によると、滋賀の認知度向上、国際観光・滞在型観光、受け入れ環境の整備などを通じて、観光入り込み客数(延べ)は07年の4666万人から13年は5000万人へ、観光消費額は05年の2666億円から13年は3000億円を目標にしている。

琵琶湖を一周する「ビワイチ」の愛称は、全国のサイクリングやウオーキング愛好家らから親しまれ、滋賀や琵琶湖の代名詞とさえなっている。琵琶湖を歩いて一周した人を「ビワイチ観光ウオーカー」として認定する制度もある。滋賀県は「ビワイチ」を商標登録、多彩な観光資源を生かした体験・体感の観光ツアーで、滋賀各地の観光スポットなど地域情報を発信している。

数多い地域資源の中で、今年節目を迎え、取り組みが注目されるのが信楽焼の産地として知られる信楽の「滋賀県立陶芸の森 陶芸館」(甲賀市)だ。日本でも数少ない陶芸専門美術館として1990年に開館、今年10月には累計入館者数が100万人を達成した。観光客や国内外の芸術家を誘引する信楽の取り組みを追った。

□■□

信楽焼の魅力発信
産地や県など 産業基盤底上げ狙う

鎌倉時代以前から継続し、日本六古窯に数えられる信楽焼。現在でも地域経済を支える屋台骨として、さらに観光振興にも貢献している。技術伝承やブランド力の向上に力を入れるほか、観光資源としての魅力を発信する取り組みも盛んに行われている。

甲賀市信楽町は滋賀県最南端に位置する。古琵琶湖層群という地層から採れる約300万―400万年前の粘土質の土が信楽焼の原料だ。山に囲まれ薪が豊富で、窯に適した傾斜地も多く、焼き物が発展した。全国に知られる信楽焼だが産業として見ると事業環境は厳しさを増すばかり。生産額は92年の約170億円をピークに12年には約38億円にまで下降した。現在は建材やインテリア、食卓用品などの生産がメーン。生産技術や材料開発とともに用途開発にも力を入れ、産業基盤の底上げを狙う。

「信楽焼の発展には多くの人に魅力を知ってもらうことが不可欠」。陶芸の森の森野泰起常務理事はこう強調する。陶芸の森は滋賀県が整備し、焼き物を核に人・モノ・情報の交流を通じ地域産業振興や文化創造の場として陶器産業振興の一翼を担う。10月には施設の一部で陶芸専門美術館「陶芸館」の入場者が100万人を突破した。

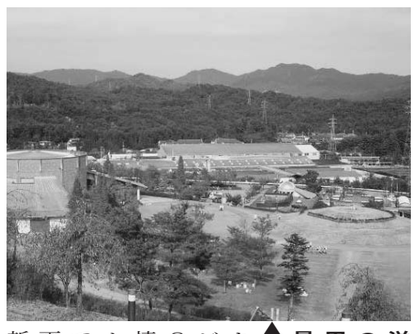
その中で注目を集める取り組みが「アーティスト・イン・レジデンス事業」だ。世界各国から陶芸家を受け入れ、自由な創作活動を行う機会を創出。12年度時点で48カ国延べ900人が滞在した。アーティストは作業スペースや設備の提供を受け、期間は長い人で1カ月程度。現在、フランスやイタリア、中国から10人ほどが滞在する。

森野常務理事は「外国人の招へいにより、新たな感性が刺激となってブランド価値の向上につながれば」と意義を説明する。陶芸の森には年間約30万人の来場者がある。ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を使った情報発信やホームページ上で展覧会の動画配信など、新たな情報発信にも積極的に取り組んでいる。

材料評価や技術相談、人材育成などで信楽焼をバックアップするのは信楽窯業技術試験場。45年の歴史を持つ後継者育成事業は延べ483人が受講。1年間のカリキュラムを修了した受講生の多くが業界で活躍している。中学生や留学生対象の短期研修も実施するなど、信楽焼の魅力発信の一助となっている。

産業利用では07年に企業10社と信楽陶製照明器具開発研究会を発足。同試験場が開発した透過性のある陶器を使った照明器具は、企業への技術移転に成功。大手照明器具メーカーのカタログにも掲載された。横井川正美場長は「陶器に機能的な要素を付加することで信楽焼の用途は大きく拡大する」と力を込める。試験場で新素材などを開発、これを企業に技術移転する仕組みが機能してきている。官民一体となった取り組みは信楽焼の新たな可能性を示す。

アーティスト・イン・レジデンスでの創作


滋賀県立陶芸の森(滋賀県甲賀市)の全景

ニチユ 物流システム

食品工場の未来を運ぶ、
ニチユ三菱フォークリフトの自動搬送システム。

進化する食品業界。それを支える工場にも期待は高まります。
ニチユ三菱フォークリフトは、無人搬送システムなど最新機器で、「新しい食品工場」のための一翼を担います。

image navigation
■ レイアウトの制約が少なく、環境に影響されません。
■ 低コスト。(工事費が安い)
■ カッティング不要なので、クリーンルームに最適です。
■ ライン汚れ事前警告でトラブル停止を回避。

【画像誘導方式】
ムジンカーi
【画像誘導方式】ライダー型無人フォークリフト
プラッターオートi
QRコードを読み込むと、プラッターオートiの動画をご確認いただけます。

ニチユ三菱フォークリフト株式会社　本社・国内営業本部　〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1　☎075-956-8691
滋賀工場　〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1　☎0748-46-5511
ホームページアドレス http://www.nmf.co.jp/